

NEWSLETTER

2011年 6 月号

No.158

RIEMAM

日本環境管理学会 会報

目次

< 1 頁 > 平成23年度日本環境管理学会大会報告 < 2 頁 > 平成22年度事業報告 / 財産目録 / 平成22年度
監査報告 < 3 頁 > 平成22年度収支決算書 / 平成23年度事業計画 < 4 頁 > 平成23年度収支予算書

平成23年度日本環境管理学会大会報告

ビルから発生する CO₂ 特別セッション 低減のための方策を探る

通常総会で会員獲得への協力を要請

5月20・21日の2日にわたり、本学会の平成23年度大会を東京都江戸川区の江戸川区総合区民ホール（タワーホール船堀）にて開催しましたので報告します。

■ 対外PRの強化で会員獲得を呼びかけ

大会第1日午前には、理事会に引き続き通常総会を開催。議長に指名された久保猛志会長の進行で22年度の事業報告・収支決算報告・監査報告と、今年度の事業計画案・収支予算案が審議され、いずれも原案どおり承認された。



久保猛志会長

久保会長はおわりに、4月から石塚義高前副会長が専務理事となったのに伴い副会長職が空席になっていることを報告。副会長職への立候補を呼びかけるとともに、「会員の減少傾向に歯止めをかけて学会活動をより活性化するため、PR活動による会員の獲得に引き続きご協力をお願いします」と訴えた。

■ 「東日本大震災から学ぶことと対策」で始まった研究発表会

午後からは第24回研究発表会が始まった。都市と災害、廃棄物と汚れ、ビルマネジメント、熱環境評価、全国協会助成研究報告など、10セッション合わせて29題の発表があった（研究発表29題のアブストラクトについては、本学会ホームページで公開の予定）。

セッションA「都市と災害」では、石塚義高氏が「東日本大震災から学ぶことと対策」などを発表した。石塚氏は、地震と津波発生のメカニズムや各地の被害状況、福島第一原子力発電所事故の現況などに言及。そのうえで、震災から学ぶことならびにそれに基づく対策として「従来の地震規模に対応するのではなく、巨大地震に対応するものに想定と対策基準を見直す」「木造建物の津波に対する脆弱性が明白になったことから、RC構造を推奨する」など、5項目を提起した。

また同氏は、セッションE「サステナビリティ（持続可能性）」



において、「人類史とその未来—近未来と遠未来のバランス確保の課題の克服—に関する研究」等で、近未来（150年後）における資源エネルギーの窮乏を予測。同エネルギーを技術革新や技術移転によりバランスよく配分することの重要性を説いた。

■ 「現場から」で2題の事例報告が優秀発表賞を同時受賞

セッションB「ビルメンテナンスの現場から」では、はじめに榎ハリマビステムの齋藤真基氏が「病院清掃と人材育成」を発表。平均年齢約67歳の高齢者が従事する病院清掃の現場で、教育プログラムの改善により従事者の安全に対する意識の改革と知識の向上に成功した事例を報告した。

続いて榎和宏の佐原将則氏が、ブラシやフッ素コーティング剤だけで施工し廃液を排出しない、独自開発の外壁タイルリニューアル工法とその導入事例を報告した。

その後審査員による厳正な審査が行われ、優秀つけ難いとして2人の発表者に優秀発表賞が贈られた。

■ 特別セッション「ライフサイクルCO₂による建築物等評価手法の現状と今後の課題」

今年度の大会では、宇都宮大学大学院工学研究科教授の岡建雄氏を講師に迎え「ライフサイクルCO₂による建築物等評価手法の現状と今後の課題」をテーマに特別セッションが行われた。岡氏はゼネコン大手・大林組の出身で、専攻は地球環境デザイン学。

岡氏はまず、建築物のライフサイクルにおける建設時および運用時に発生するCO₂量による建築物の評価や低減のための手法を解説。例として、栃木県庁における省エネルギーの取り組みと効果などを紹介した。さらに、建設時に発生するCO₂（Embodied CO₂）の考え方と算出方法および評価上の問題点などにふれ、低減のための方策と今後の見通しを述べた。



岡建雄氏

平成 22 年度 事業報告

1. 平成 22 年度通常総会

日時 平成 22 年 5 月 21 日(金)10:30～
場所 江戸川区総合区民ホール会議室
議案 平成 21 年度事業報告・収支決算報告／同監査報告／平成 22 年度事業計画・収支予算／役員改選／その他

2. 会合

(1) 理事会 1 回

日時 平成 22 年 5 月 21 日(金)9:40～
場所 江戸川区総合区民ホール会議室
議題 平成 22 年度総会議案について／役員改選について／その他

(2) 学会運営関係委員会

1) 運営委員会 1 回

各委員会業務の把握／総会議案及び運営／平成 22 年度事業報告及び決算状況の把握／平成 23 年度予算編成及び予算執行状況の把握

2) 学術委員会 10 回

第 23 回研究発表会の企画・運営／『環境の管理』発行(論文審査小委員会)／各研究小委員会の活動把握(2 小委員会)／第 24 回研究発表会の検討・準備

3) 総務委員会 12 回(事業委員会と合同)

ホームページの作成・把握／会員数・会費納入状況の把握／会員データの整備とサービス提供へのシステム検討／関係団体への事業協力体制整備と対応

4) 事業委員会 20 回

(総務委員会との合同委員会 12 回を含む)
平成 22 年度印刷版ニューズレターの作成／Web 版ニューズレター企画・発信／学会事業活性化のための具体的取り

組みの検討／関係団体等からの依頼事項への対応

3. 研究発表会(学術委員会)

第 23 回研究発表会

日時 平成 22 年 5 月 21 日(金)、22 日(土)
場所 江戸川区総合区民ホール会議室
論文等 研究発表会 26 題

記念講演「中小ビル経営者が取り組む地球温暖化対策」猪股徳臣氏(東山興業㈱代表取締役社長、東京ビルディング協会理事) 清宮仁氏(㈱昌平不動産総合研究所取締役、東京ビルディング協会)

4. 研究活動

(1) 研究小委員会(学術委員会)

1) 論文審査小委員会 6 回(通信委員会を含む)

2) 現場のための室内環境評価と測定研究小委員会 10 回

①「室内環境評価システム・簡易版」を配布、②モニタービルの選定とデータ整理、③22 年 5 月「日本環境管理学会大会」で論文発表

3) 建築・設備の不完全性(べからず)事例研究小委員会 6 回

①データの収集と最終フォーマットの検討、②出版企画の検討、③22 年 5 月「日本環境管理学会大会」で論文発表

(2) 受託研究活動(ビルメン戦略研究委員会・総務委員会・事業委員会)

委託元:(社)全国ビルメンテナンス協会
平成 22 年度課題

1) ビルメンテナンス・グランドデザインに関する研究(継続課題)

①「現状認識と将来の夢」に関するア

ンケート調査の系統図の作成、②同系統図の関連項目の整理

2) 「ビルメンテナンスと建物長寿命化の関連性に関する研究」(個別課題)

①22 年 7 月、課題への対応に関する打合せ、②23 年 5 月、研究遂行計画の提出

3) 「ビルメンテナンスの契約実態の分析と契約のあり方に関する研究」(個別課題)

①22 年 9 月、課題への対応に関する打合せ、②23 年 5 月、研究遂行計画の提出

5. 出版等事業(学術委員会・論文審査小委員会・事業委員会・ニューズレター小委員会)

(1) 会誌『環境の管理』第 70 号～第 72 号

(2) 「NEWSLETTER」第 154 号～第 156 号

(3) Web 版ニューズレターの更新

(4) ホームページの更新

(5) 日本環境管理学会大会 2010 学術講演梗概集-第 23 回研究発表会-

6. 他団体等への協力事業(総務委員会・事業委員会)

(1) 全国ビルメンテナンス協会

①ビルメンテナンス研究発表表彰選考委員会への委員派遣

②ビルメンテナンス研究助成選考委員会への委員派遣

(2) BM情報ランドへの参画・促進

(3) 協賛・後援:ビル管理教育センター「建築物環境衛生管理全国大会」/全国ビルメンテナンス協会「第 4 回ビルメンこども絵画コンクール」

(II) 財産目録 (平成 23 年 3 月 31 日)

1. 資産の部 (単位:円)

(1) 流動資産(現金・預金)			
・現金			244,372
・普通預金	三井住友銀行		1,659,492
	みずほ銀行		3,328,115
現金・預金合計			5,231,979
(2) 保証金			1,946,400
(3) 未収入金			1,650,000
資産合計			8,828,379

2. 負債の部

(1) 前受金			
・平成 23 年度会費	正会員(法人)	10 社	600,000
	正会員(個人)	20 名	200,000
	特別会員	2 団体	100,000
	学生会員	2 名	6,000
前受金合計			906,000
(2) 預り金			14,700
(3) 未払金			52,500
負債合計			973,200

3. 差引正味財産			
合計			7,855,179

平成 22 年度 監査報告

平成 22 年度の収支決算を、以上の通り報告致します。

平成 23 年 5 月 10 日

日本環境管理学会

会長 久保 猛志 (印)

事務局長 坂口 弘 (印)

上記の報告書類を監査の結果、いずれも適正かつ正確なることを認めます。

平成 23 年 5 月 10 日

監事 古橋 啓夫 (印)

同 村松 學 (印)

(1) 平成 22 年度 収支決算書 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

＜収入の部＞

3月31日現在 (単位:円)

勘定科目	平成22年度決算額	平成22年度予算額	増▲減	摘要
入会金収入	10,000	22,000	▲12,000	
入会金収入	10,000	22,000	▲12,000	個人会員5名入会
会費収入	1,851,000	2,640,000	▲789,000	
個人会員収入	601,000	670,000	▲69,000	個人正会員+学生会員
法人会員収入	1,250,000	1,970,000	▲720,000	法人正会員+特別会員
徴収不能会費	▲880,000	0	▲880,000	
事業収入	277,246	700,000	▲422,754	
大会等収入	216,000	400,000	▲184,000	研究発表会、講演会等
その他事業収入	61,246	300,000	▲238,754	書籍販売等
受託事業収入	3,000,000	3,000,000	0	
委託研究費	1,500,000	1,500,000	0	全国ビルメンテナンス協会より
研究助成収入	1,500,000	1,500,000	0	同上
貸室料立替金収入	600,000	600,000	0	全国ビルメンテナンス政治連盟より
雑収入	2,240,230	50,000	2,190,230	
受取利息	784	0	784	
雑収入	2,239,446	50,000	2,189,446	過年度支部交付金戻り(北海道支部)
当期収入合計	7,098,476	7,012,000	86,476	
前期繰越金	6,809,869	6,809,869	0	
計	13,908,345	13,821,869	86,476	

＜支出の部＞

(単位:円)

勘定科目	平成22年度決算額	平成22年度予算額	増▲減	摘要
事業費	2,224,357	3,025,000	▲800,643	
研究費	598,014	1,000,000	▲401,986	研究小委員会、図書費等
印刷編集費	805,770	1,105,000	▲299,230	会誌、ニューズレター等制作費
通信運搬費	185,383	180,000	5,383	電話料、会誌送料等
原稿料	39,350	50,000	▲10,650	
講師謝金	33,333	50,000	▲16,667	
大会等開催費	438,391	500,000	▲61,609	総会、理事会、研究発表会開催費
器具備品費	109,116	110,000	▲884	コピーリース代等
渉外費	15,000	30,000	▲15,000	
管理費	3,828,809	3,987,000	▲158,191	
給料手当	189,200	315,000	▲125,800	
旅費交通費	58,740	90,000	▲31,260	職員交通費
会議費	19,555	30,000	▲10,445	運営委員会等開催費
水道光熱費	112,288	120,000	▲7,712	
消耗備品費	69,347	45,000	24,347	
顧問料	556,500	557,000	▲500	
借室料	2,786,109	2,800,000	▲13,891	更新料・貸室料立替金支出を含む
雑費	37,070	30,000	7,070	振込手数料、保険料
当期支出合計	6,053,166	7,012,000	▲958,834	
当期収支差額	1,045,310	0	1,045,310	
次期繰越金	7,855,179	6,809,869	1,045,310	
計	13,908,345	13,821,869	86,476	

増減額＝平成22年度決算額－平成22年度予算額

平成23年度 事業計画

1. 平成23年度通常総会

日時 平成23年5月20日(金)11:00～
場所 江戸川区総合区民ホール会議室

2. 会合

- (1) 理事会 1回
- (2) 運営委員会 2回
- (3) 学術委員会 10回
- (4) 総務委員会 10回
- (5) 事業委員会(ニューズレター小委員会) 12回
- (6) 調査研究小委員会等 随時

3. 研究発表会(学術委員会)

- (1) 第24回研究発表会
日時 平成22年5月20・21日
場所 江戸川区総合区民ホール会議室

4. 研究活動

- (1) 研究小委員会(学術委員会)
 - 1) 論文審査小委員会(通信委員会を含む)
 - 2) 現場のための室内環境評価と測定研究小委員会
「室内環境評価システム・簡易版」項目の精査/オフィスビル以外の建物用途への活用に関する検証
 - 3) 建築・設備の不完全性事例研究小委員会

べからず事例書籍発刊に向けた検討

- 4) プロパティマネジメント研究委員会
- 5) その他(1～2研究小委員会)
- (2) 受託研究活動(ビルメン戦略研究委員会・総務委員会・事業委員会)
委託元: 全国ビルメンテナンス協会
委託研究課題「ビルメンテナンス・グランドデザインに関する研究」
平成22年度課題を継続し、以下の課題の研究を進める。
 - 1) 「ビルメンテナンス業に係る現状の認識と将来への展望や夢」の集計・分析と報告書の作成
 - 2) 「ビルメンテナンスと建物長寿命化の

- 関連性に関する研究」(個別課題)
- 3) 「ビルメンテナンスの契約実態の分析と契約のあり方に関する研究」(個別課題)
- 4) 「情報ネットワークにおけるビルメンテナンス・データの活用に関する研究」(個別課題)
5. 講演会・見学会等(事業委員会、学術委員会)
- (1) 講演会・見学会 1～2回開催予定
6. 出版事業(学術委員会、論文審査小委員会、事業委員会、ニューズレター小委員会)
- (1) 会誌『環境の管理』第73号～第75号
- (2) 日本環境管理学会大会2011 学術講演梗概集-第24回研究発表会-
- (3) 「NEWSLETTER」第157号～第159号(別途Web版ニューズレター6号)
7. 他団体等への協力事業(総務委員会、事業委員会)
- (1) 全国ビルメンテナンス協会への委員派遣
- ①研究助成選考委員会
- ②研究発表表彰選考委員会
- (2) 建築物管理訓練センターからの課題委託
- (3) BM情報ランドへの参画・促進
- (4) 協賛・後援
- ①ビル管理教育センター
「建築物環境衛生管理全国大会」
- ②全国ビルメンテナンス協会「第5回ビルメンこども絵画コンクール」

平成23年度 収支予算書 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

<収入の部>

(単位:円)

勘定科目	平成23年度予算額	平成22年度予算額	増▲減	摘要
入会金収入	22,000	22,000	0	
入会金収入	22,000	22,000	0	個人会員6名、法人会員1社入会
会費収入	1,942,000	2,640,000	▲698,000	
個人会員収入	632,000	670,000	▲38,000	個人正会員+学生会員
法人会員収入	1,310,000	1,970,000	▲660,000	法人正会員+特別会員
事業収入	600,000	700,000	▲100,000	
大会等収入	300,000	400,000	▲100,000	研究発表会、講演会等
その他事業収入	300,000	300,000	0	書籍販売等、訓練センター委託
受託事業収入	3,000,000	3,000,000	0	
委託研究費	1,500,000	1,500,000	0	全国ビルメンテナンス協会より
研究助成収入	1,500,000	1,500,000	0	同上
貸室料立替金収入	600,000	600,000	0	全国ビルメンテナンス政治連盟より
雑収入	50,000	50,000	0	
受取利息	0	0	0	
雑収入	50,000	50,000	0	
当期収入合計	6,214,000	7,012,000	▲798,000	
前期繰越金	7,855,179	6,809,869	1,045,310	
計	14,069,179	13,821,869	247,310	

<支出の部>

(単位:円)

勘定科目	平成23年度予算額	平成22年度予算額	増▲減	摘要
事業費	2,615,000	3,025,000	▲410,000	
研究費	840,000	1,000,000	▲160,000	研究小委員会、図書費等
印刷編集費	920,000	1,105,000	▲185,000	会誌、ニューズレター等制作費
通信運搬費	180,000	180,000	0	電話料、会誌送料等
原稿料	50,000	50,000	0	
講師謝金	50,000	50,000	0	
大会等開催費	450,000	500,000	▲50,000	総会、理事会、研究発表会開催費
器具備品費	110,000	110,000	0	コピーリース代等
渉外費	15,000	30,000	▲15,000	
管理費	3,599,000	3,987,000	▲388,000	
給料手当	210,000	315,000	▲105,000	
旅費交通費	60,000	90,000	▲30,000	職員交通費
会議費	20,000	30,000	▲10,000	運営委員会等開催費
水道光熱費	120,000	120,000	0	
消耗備品費	52,000	45,000	7,000	
顧問料	557,000	557,000	0	
借室料	2,550,000	2,800,000	▲250,000	更新料・貸室料立替金支出を含む
雑費	30,000	30,000	0	振込手数料等
当期支出合計	6,214,000	7,012,000	▲798,000	
当期収支差額	0	0	0	
次期繰越金	7,855,179	6,809,869	1,045,310	
計	14,069,179	13,821,869	247,310	

増減額=平成23年度予算額-平成22年度予算額

NEWSLETTER RIEMAM

(Research Institute of Environmental Management, Administration and Maintenance of JAPAN)

2011年6月号 第158号

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5-23-8 KSビル3階

発行=日本環境管理学会

TEL: 03-3802-7050 FAX: 03-3802-7051

ホームページ: <http://www.riemam.org> Eメール: info@riemam.org